

## 今週（8月13日から8月17日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週の日銀当座預金残高は週初384兆円程度から始まり、15日の年金定時払い以降は392~393兆円程度と高水準での推移となった。この間、無担保コールO/N物は、15日までは積みの最終調整に絡んだ動きが中心となり、調達に余裕のある先と調達に目処がついた先でレートの二極化が見られた。新積み期となる16日以降は、マクロ加算残高にかかる基準比率が33.0%（見直し前30.5%）となったものの、積み序盤ということもあって調達サイドの様子見姿勢が強く、一般的にレート水準を下げての動きとなった。ターム物は新積み期スタート物を中心に、ショートタームで▲0.05~▲0.03%の出会いが見られた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは17日に2W物・8,000億円がオファーされ、1,141億円（期落ち額1,251億円）と札割れとなった。

### ●レポ市場

今週のO/N GCは、▲0.180~▲0.090%と広いレンジでの取引となった。積み終盤となる13日、14日のT/Nは投資家の資金調達が堅調で▲0.100~▲0.090%の高いレートで推移した。15日のT/Nは新積み期に入り、投資家の資金調達が減少したことで▲0.180~▲0.150%の出会いと、レートは大きく低下した。16日のT/Nも引き続き▲0.170~▲0.140%の低いレートとなった。17日のT/Nは短国3ヶ月物と1年物の発行が重なったことで▲0.130~▲0.120%の出会いまでレートは上昇した。

SCは個別銘柄では5y130~136、10y334~351、20y160~165、30y50~59、40y11などのカレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、レート水準が低く、動意が薄い中でも全般的に堅調な展開となった。

13日に実施された短国買入オペは、5,000億円でオファーされた。応札額が15,372億円とやや多かったものの、平均落札利回較差▲0.005%、按分落札利回較差▲0.007%としっかりした結果となった。

16日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.16%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1557%、按分落札利回▲0.1537%と強めの結果となった。セカンダリーでは、▲0.16~▲0.155%の出会いと堅調に推移した。

17日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.18~▲0.17%での強めの出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1643%、按分落札利回▲0.1563%と引き続き強めの結果となった。

### ●CP市場

今週のCP市場は、多くの事業法人が夏季休暇に入ったこともあり、閑散としたマーケットであった。15日、20日スタートの発行があったものの、週間償還総額約4,700億円程度に対し、発行総額は3,800億円程度と小幅な償還超となった。a-1格以上の発行レートは、市場残高が19兆円台半ばを維持しており、ディーラーの在庫も引き続き高まっていることから、発行頻度の低い銘柄では極浅いマイナス、それ以外の銘柄に関しては概ね0%近辺での決着と、先週と同水準での推移となった。

14日にはCP等買入オペが2,000億円で実施された。売却ニーズの強い銘柄が少なかったこともあってか、平均落札レート▲0.001%、按分落札レート▲0.001%といずれも前回オペ比で横ばいの結果となった。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/13 (月)	21,857.43	0.095	110.25	△ 0.051	△ 0.100	3,843,900
8/14 (火)	22,356.08	0.100	110.76	△ 0.051	△ 0.099	3,843,700
8/15 (水)	22,204.22	0.090	111.37	△ 0.052	△ 0.145	3,925,800
8/16 (木)	22,192.04	0.095	110.83	△ 0.067	△ 0.150	3,932,900
8/17 (金)	22,270.38	0.090	110.87	△ 0.067	△ 0.139	3,923,200

## 来週（8月20日から8月24日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/20 (月)					
8/21 (火)		20Y 10,000億円 8/22発行			
8/22 (水)					7月の米中古住宅販売
8/23 (木)	6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	流動性供給 6,000億円 8/24発行			7月の米新築一戸建て販売件数
8/24 (金)	7月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 7月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	TB3M 42,500億円 8/27発行	交付税借入 10,500億円 9/4借入		7月の米耐久財新規受注

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/20 (月)	500	▲ 8,100	▲ 7,600	国債買入 全店共通 CP買入	▲ 1,300 ▲ 400	6,600 1,100	6,000	▲ 1,600	TB3M発行▲42500償還37900 TB1Y発行▲21000償還17400 エネルギー借入▲6000期日7000
8/21 (火)	1,000	3,000	4,000				0	4,000	
8/22 (水)	▲ 1,000	▲ 11,000	▲ 12,000				0	▲ 12,000	20Y発行▲10000 交付税借入▲10500期日10500
8/23 (木)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
8/24 (金)	▲ 1,000	▲ 5,000	▲ 6,000	被災地支援	▲ 900		▲ 900	▲ 6,900	流動性供給▲6000
週間合計	▲ 1,500	▲ 22,100	▲ 23,600	—	▲ 2,600	7,700	5,100	▲ 18,500	

8/20は日銀予想、8/21以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み期前半ということもあって参加者の資金調達ニーズが弱く、レートは低位横ばいの地合いが続くと予想される。

レボ市場は、引き続き投資家の弱い資金調達地合いが続くと見られることから、▲0.180～▲0.100%と広いレンジでの推移が予想される。

短国市場は、24日に3M物の入札が実施される予定となっている。また、20日には短国買入オペが実施されることが見込まれる。入札が二本連続した後のオペとなる一方で、短国のレートが軒並み▲0.10%台後半となっていることもあり、オフアール額が注目される。

CP市場は夏季休暇明けの企業が発行を再開することが見込まれる為、活況なマーケットとなることが予想される。

主要なイベントとしては、24日に7月の全国CPIの発表等が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお選する書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入